

2002年度中間期 (2002年9月期)

業績概要

日本ビクター株式会社

2002年10月29日

2002年度上半期 (2002年9月中間期) 決算のポイント

1. 連結・単独ともに営業利益・税引後利益黒字化
2. 民生事業の健闘
3. 雇用構造改革終了

2002年度上半期(2002年9月期) 業績概要

【連結】

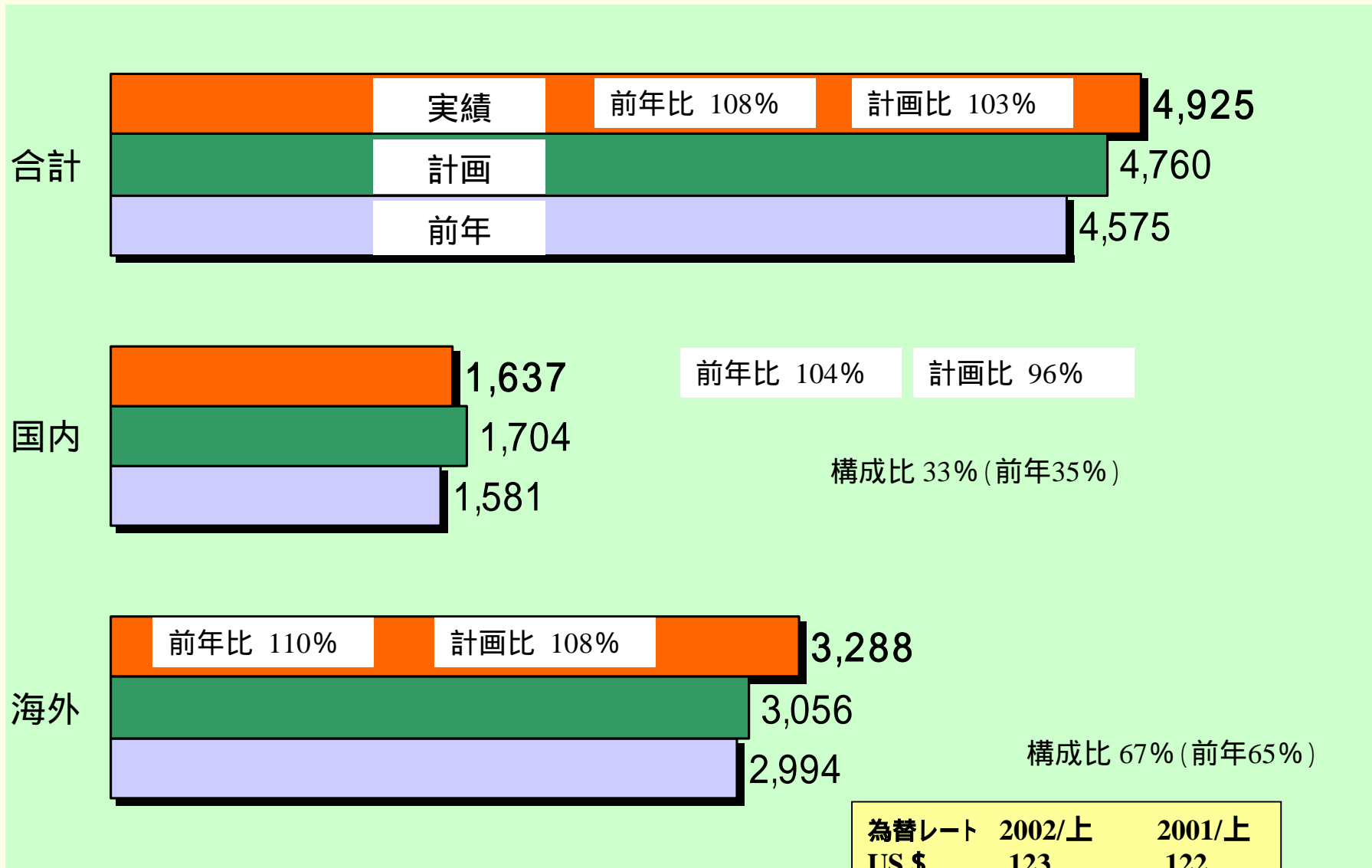
(億円)

	実 績	9/25修正発表	4/25当初発表	前年実績	修正差	当初差	前年差
売上高	4,925	4,780	4,760	4,575	(103%)	(103%)	(108%)
	1.8%	1.7%	0.8%	-3.4%			
営業利益	89	80	40	154	9	49	243
	1.2%	1.0%	0.3%	-3.8%			
経常利益	60	50	13	174	10	47	234
	0.3%	0.1%	-0.4%	-4.5%			
税後利益	14	5	20	204	9	34	218

【単独】

	実 績	9/25修正発表	4/25当初発表	前年実績	修正差	当初差	前年差
売上高	2,765	2,780	2,580	2,533	(99%)	(107%)	(109%)
	1.6%	1.4%	0.4%	-6.9%			
営業利益	45	40	10	174	5	35	219
	1.4%	1.3%	0.0%	-6.5%			
経常利益	38	35	1	165	3	37	203
	0.7%	0.4%	-0.2%	-7.4%			
税後利益	19	10	6	187	9	25	206

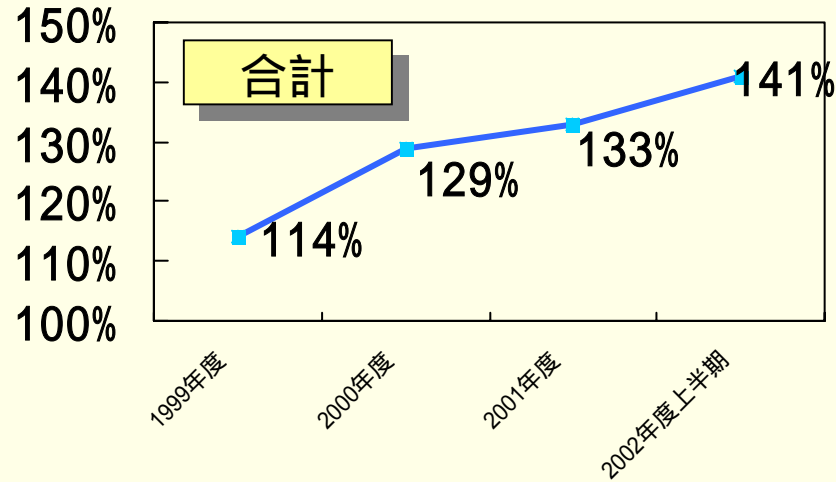
2002年度上半期 販売状況



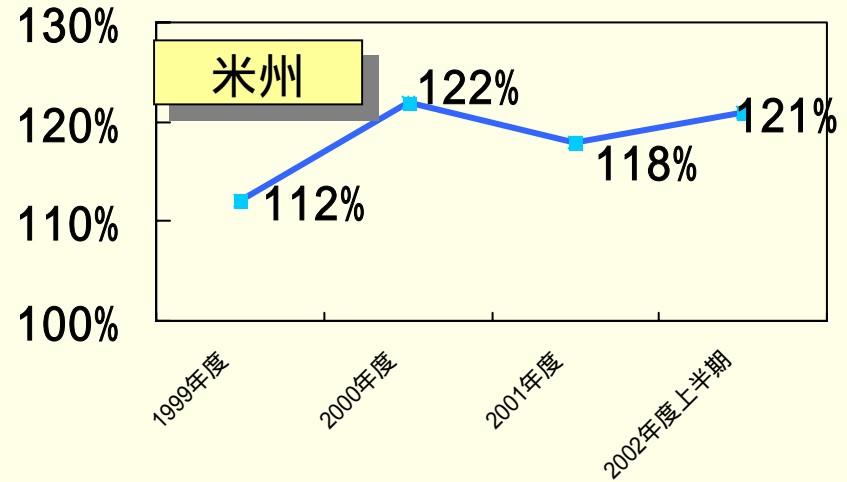
為替レート	2002/上	2001/上
US \$	123	122
EUR	117	108

2002年度 上半期 海外現地販売の伸長率

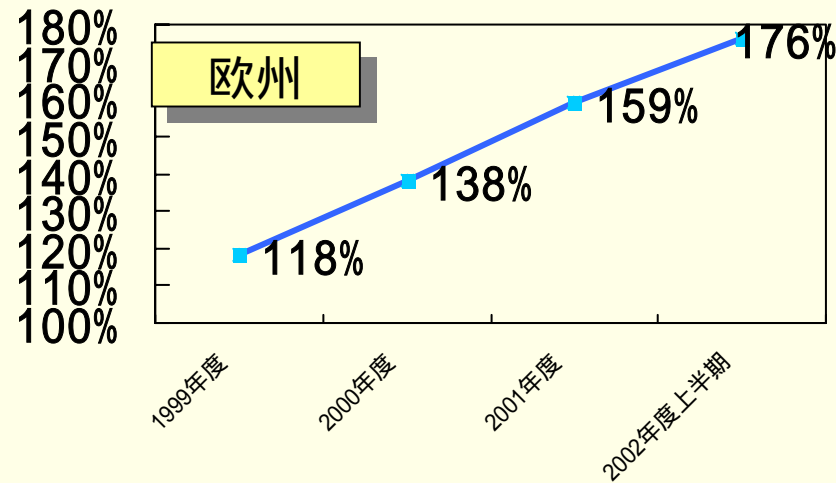
1998年度を100とした場合の伸長率(現地通貨ベース)



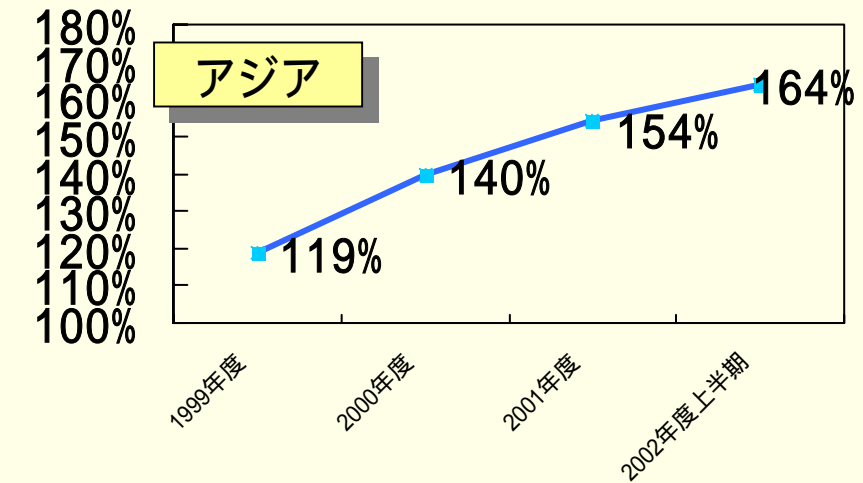
前年伸長率 114% 113% 103% 106%



前年伸長率 112% 109% 96% 103%



前年伸長率 118% 117% 115% 110%



前年伸長率 119% 118% 110% 106%

2002年度上半期 損益増減分析(前年差)

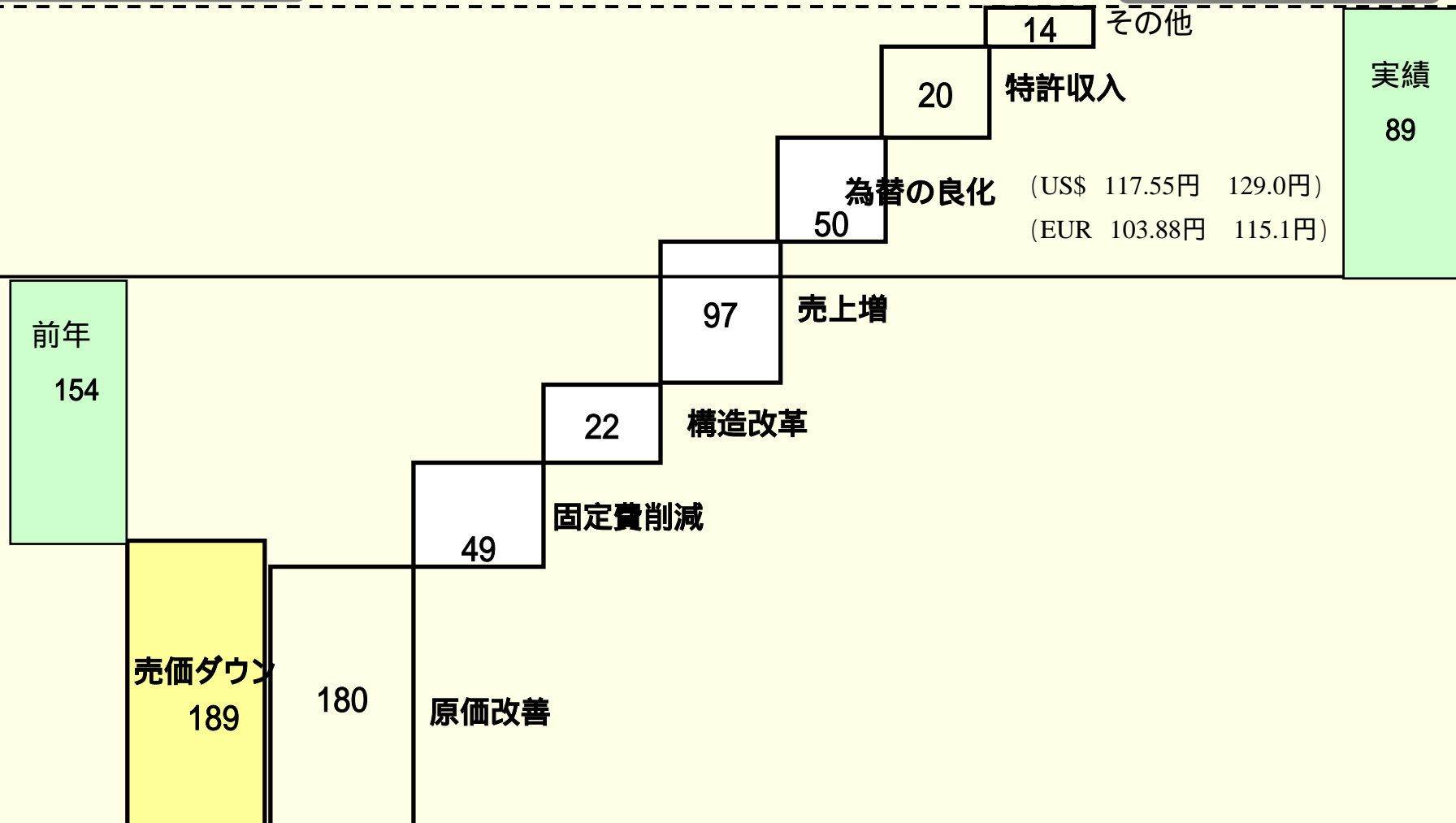
前年(2001 / 上)
営業利益 154

前年差
243億円改善

実績
営業利益 89 (億円)

利益減少要因

利益増加要因



分野別営業利益

(億円)

	実績	当初	前年	当初差	前年差
民生	109	44	41	65	150
産業	24	22	57	2	33
デバイス	0	2	29	2	29
ソフト・メディア	6	22	19	16	25

特別損益

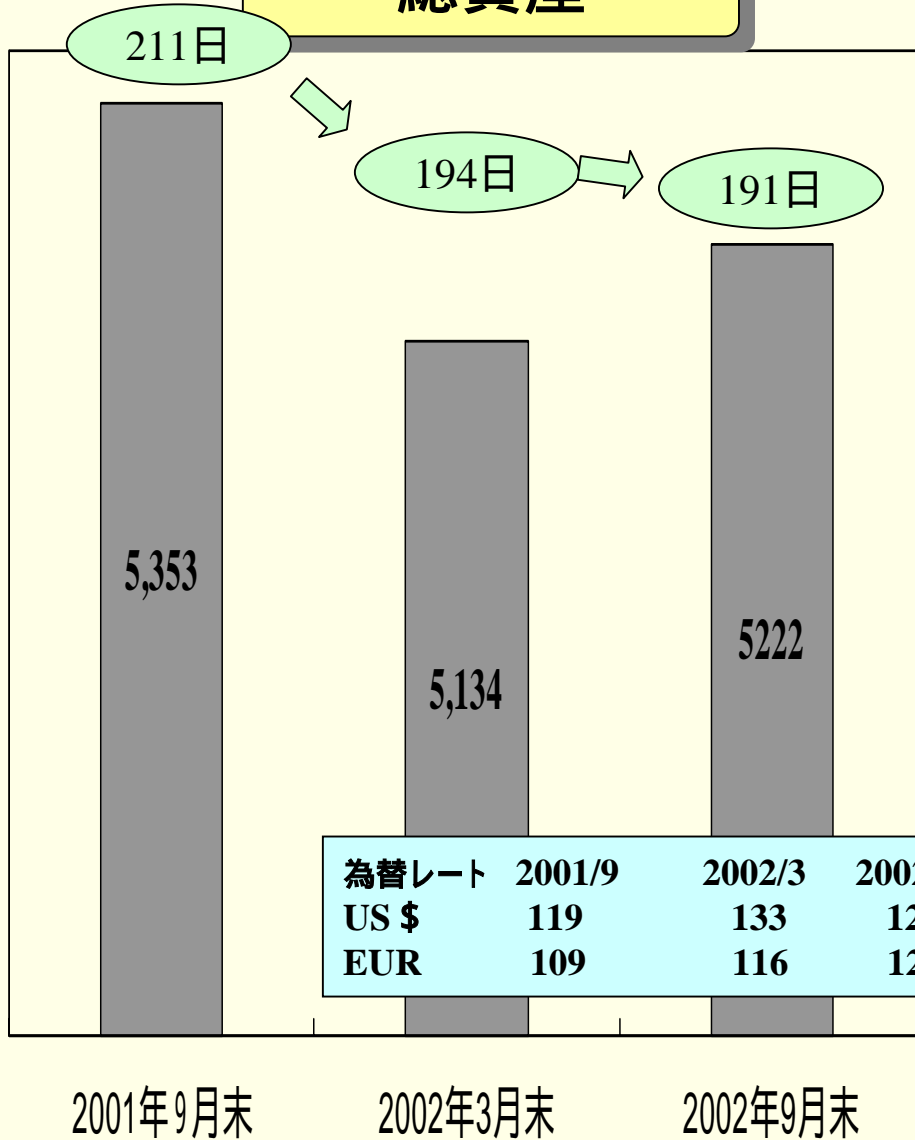
(億円)

	実績
代行返上	34.6
雇用構造改革	29.8
事業構造改革	34.0
構造改革	63.8
不動産売却	29.6
有価証券評価損	21.2
その他	3.9
合計	24.7

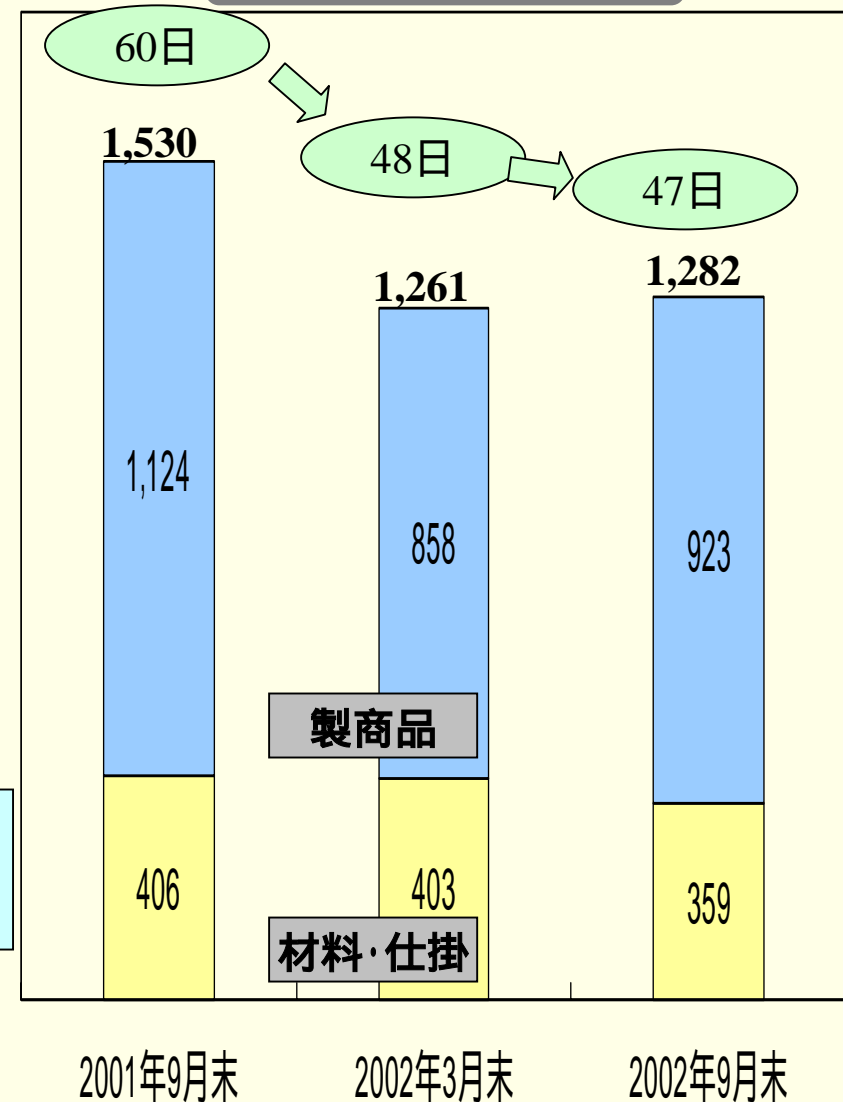
総資産の状況

(億円)

総資産



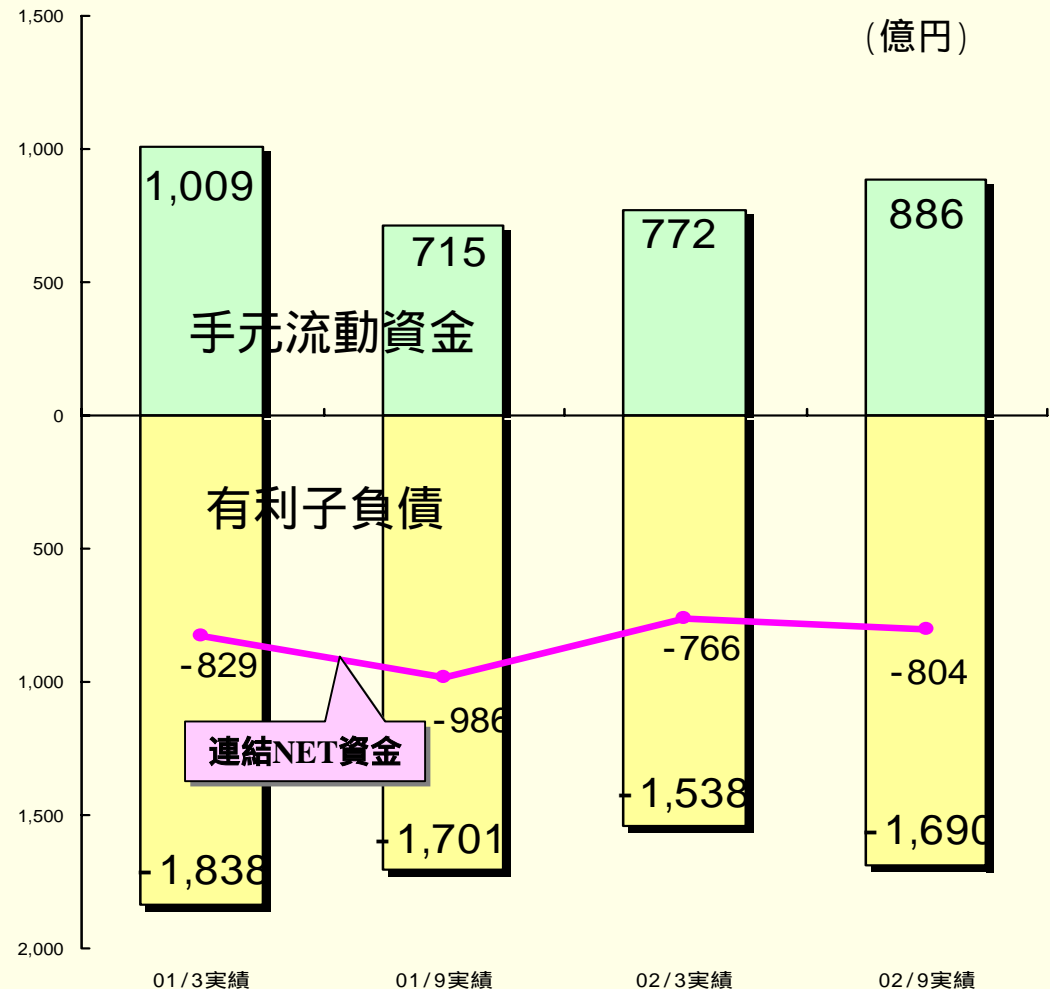
棚卸資産



2002年度上半期 キャッシュフロー

連結C / F計算書

税引前利益	35
減価償却費	114
運転資金	52
棚卸資産	19
雇用構造改革	201
その他	27
営業C / F	8
固定資産	85
その他	67
投資C / F	18
フリーキャッシュフロー	10
財務C / F	171
その他調整	19
現金増減	142
期首残高	693
期末残高	835



	2001年度	2002/上
設備投資	156	60
減価償却費	280	120

(億円)

2002年度 業績予想

< 連結 >

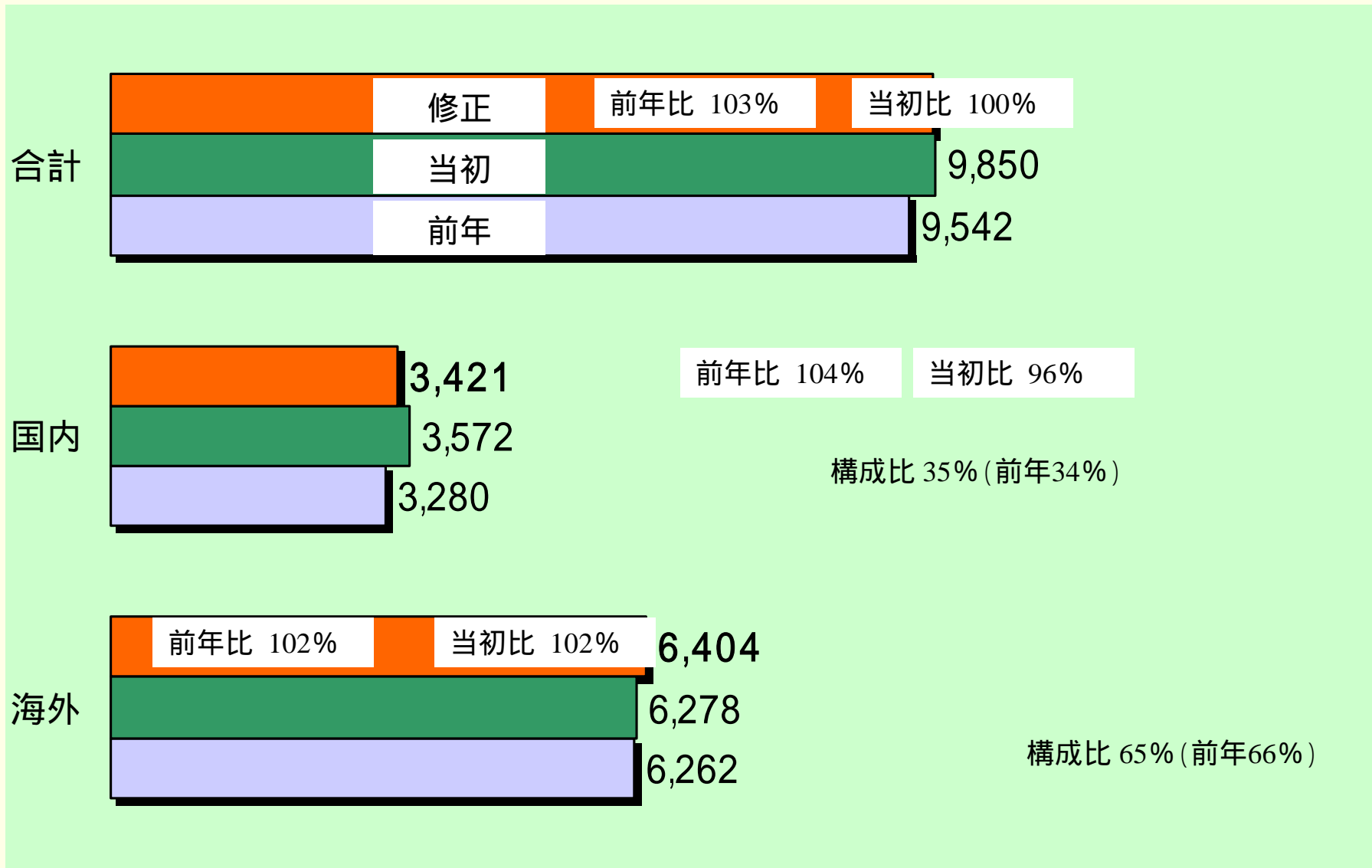
(億円)

	業績予想	当初発表(4/25)	当初差	前年差	前年実績
売上高	9,825	9,850	100%	103%	9,542
	2.0%	1.7%			-1.3%
営業利益	200	170	30	321	121
	1.4%	1.1%			-1.6%
経常利益	140	110	30	296	156
	0.6%	0.4%			-4.7%
税後利益	60	44	16	506	446

< 単独 >

	業績予想	当初計画	当初差	前年差	前年実績
売上高	5,370	5,370	100%	107%	5,014
	1.4%	0.9%			-5.3%
営業利益	75	50	25	343	268
	0.9%	0.5%			-5.1%
経常利益	50	26	24	308	258
	0.6%	0.2%			-9.8%
税後利益	30	9	21	520	490

2002年度 販売見込



2002年度 損益増減分析(前年差)

前年(2001年度)
営業利益 121

前年差
321億円改善

修正見通し
営業利益 200

(億円)

利益減少要因

利益増加要因

特許収入
38

為替の良化
75
(US\$ 118円 上半期129.0円・下半期118)
(EUR 106円 上半期115.1円・下半期106)

売上増
118

修正
200

前年
121

売価ダウン

400

367

49

固定費削減

原価改善

56

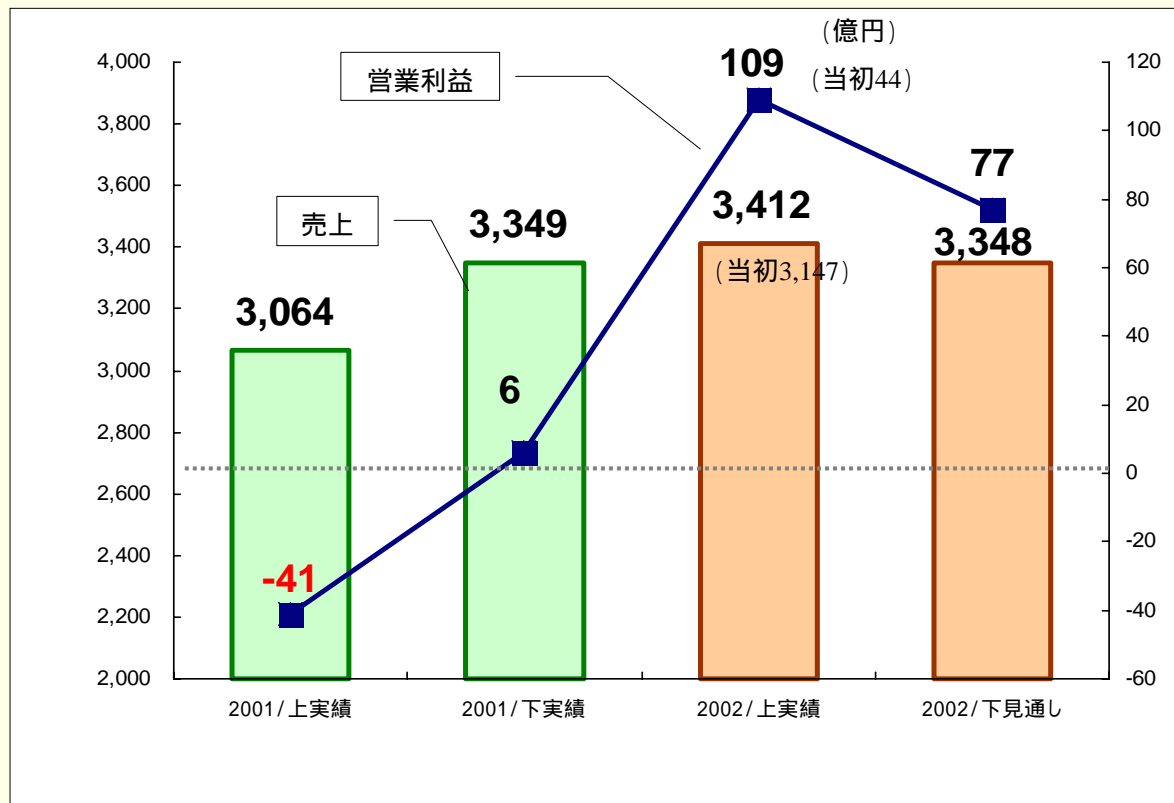
雇用構造改革

18

不採算事業分野撤退

売上増
118

2002年度 民生分野の状況



上半期の販売状況

	実績	計画	達成率	前年比
国内	570	589	97%	112%
海外	2,842	2,558	111%	111%
合計	3,412	3,147	108%	111%

国内: A-ビ-110%・デッキ121%・TV115%
 海外: DVD178%・デッキ123%・TV122%
 (前年比 : 海外は現地通貨ベース)

上半期の増減要因(計画差)

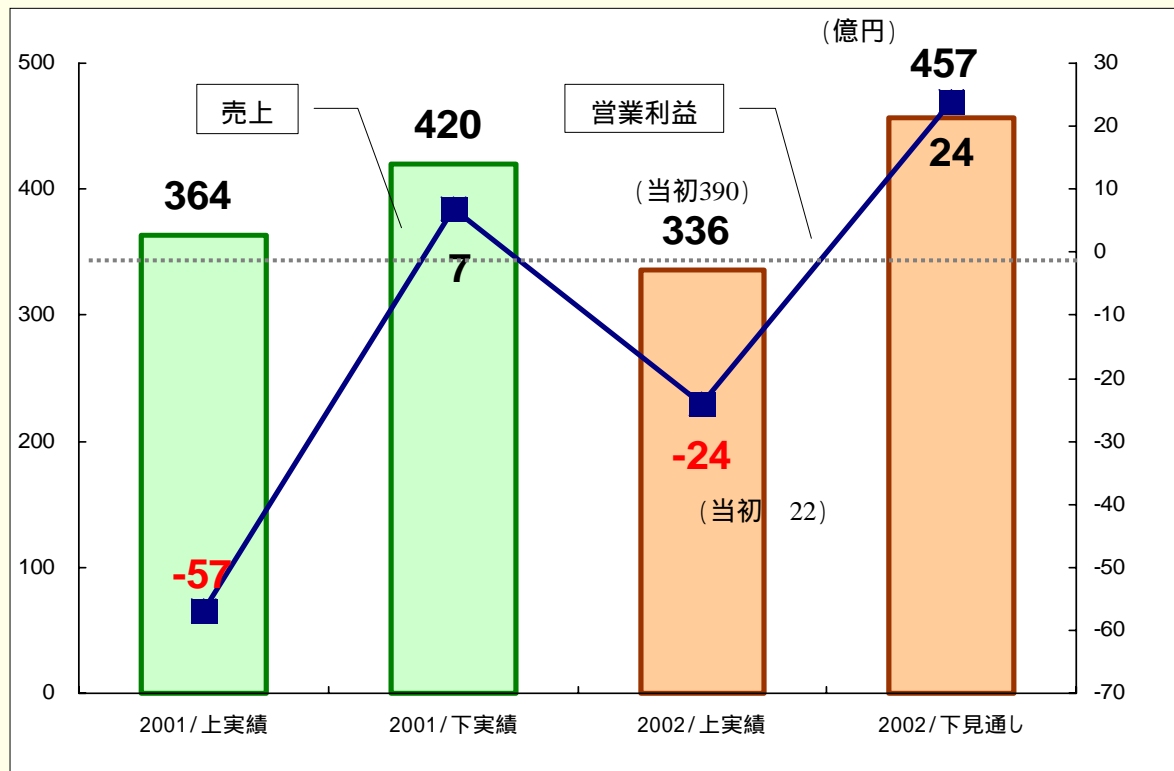
- 【増益要因】
- 販売の増加
 - 為替の良化
 - 固定費削減
- 【減益要因】
- 拡売費の増加

下半期のポイント

- DVC A-ビ-・DVD・PDPの拡売
- 75周年記念商品の導入
- 新商品の原価創造
- ものづくり改革の取組み

	2002年見通し	2002年当初	2001年実績	当初比	前年比
売上	6,760	6,570	6,413	103%	105%
営業利益	2.8%	1.7%	-0.5%		
	186	110	35	76	221

2002年度 産業分野の状況



上半期の販売状況

	実績	計画	達成率	前年比
国内	222	258	86%	91%
海外	114	132	86%	95%
合計	336	390	86%	92%

(前年比 : 海外は現地通貨へ入)

国内: 監視カメラ90%

海外: プロDV82%

上半期の増減要因(計画差)

【増益要因】

- 為替の良化
- 固定費削減

【減益要因】

- 販売の未達

下半期のポイント

• 販売の確保

75周年記念商品導入

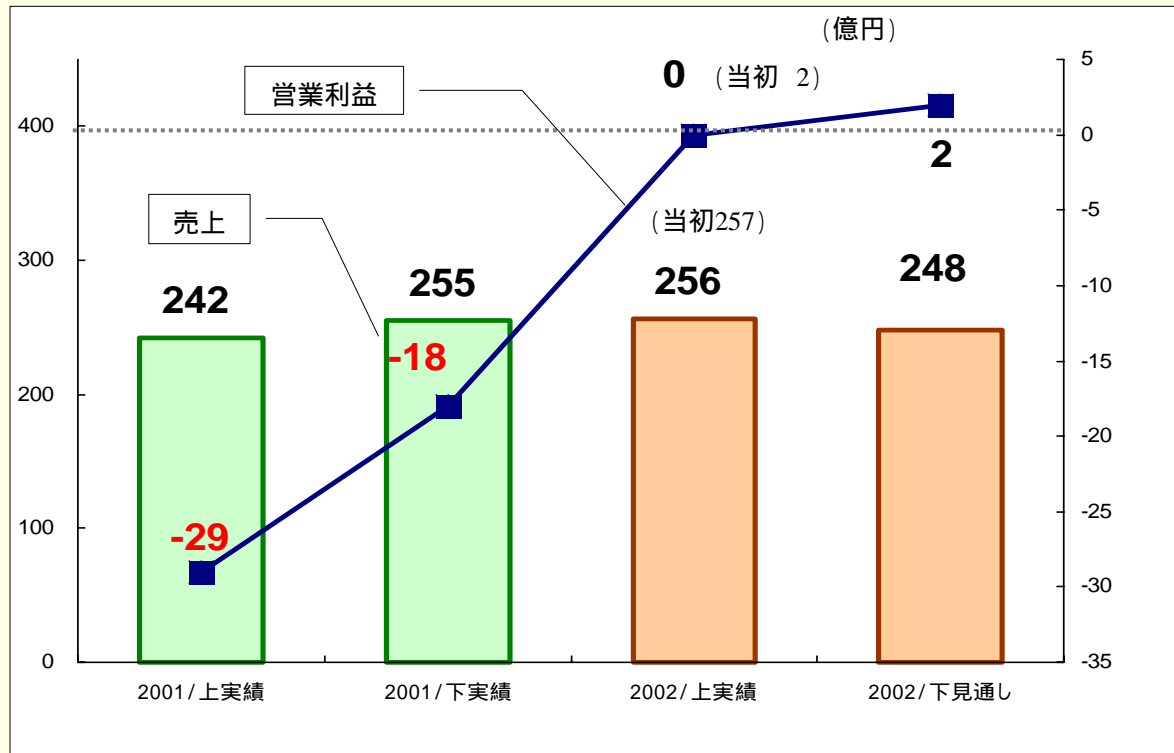
セキュリティー商品の拡販

プロDVの拡販

• DILAプロジェクターの市場導入

	2002年見通し	2002年当初	2001年実績	当初比	前年比
売上	793	853	784	93%	101%
営業利益	0.0%	0.6%	-6.4%		
	0	5	50	5	50

2002年度 デバイス分野の状況



上半期の販売状況

	実績	計画	達成率	前年比
国内	19	17	112%	59%
海外	237	240	99%	113%
合計	256	257	100%	106%

(前年比)

FDDF-タ117%・HDDF-タ115%・偏向ヨ-ク102%

光ピックアップ104%・ビルドアップ多層基板86%

上半期の増減要因(計画差)

【増益要因】

•為替の良化

【減益要因】

•販売の未達

•体質改善の遅れ

下半期のポイント

•販売の確保

主要顧客のシェア向上

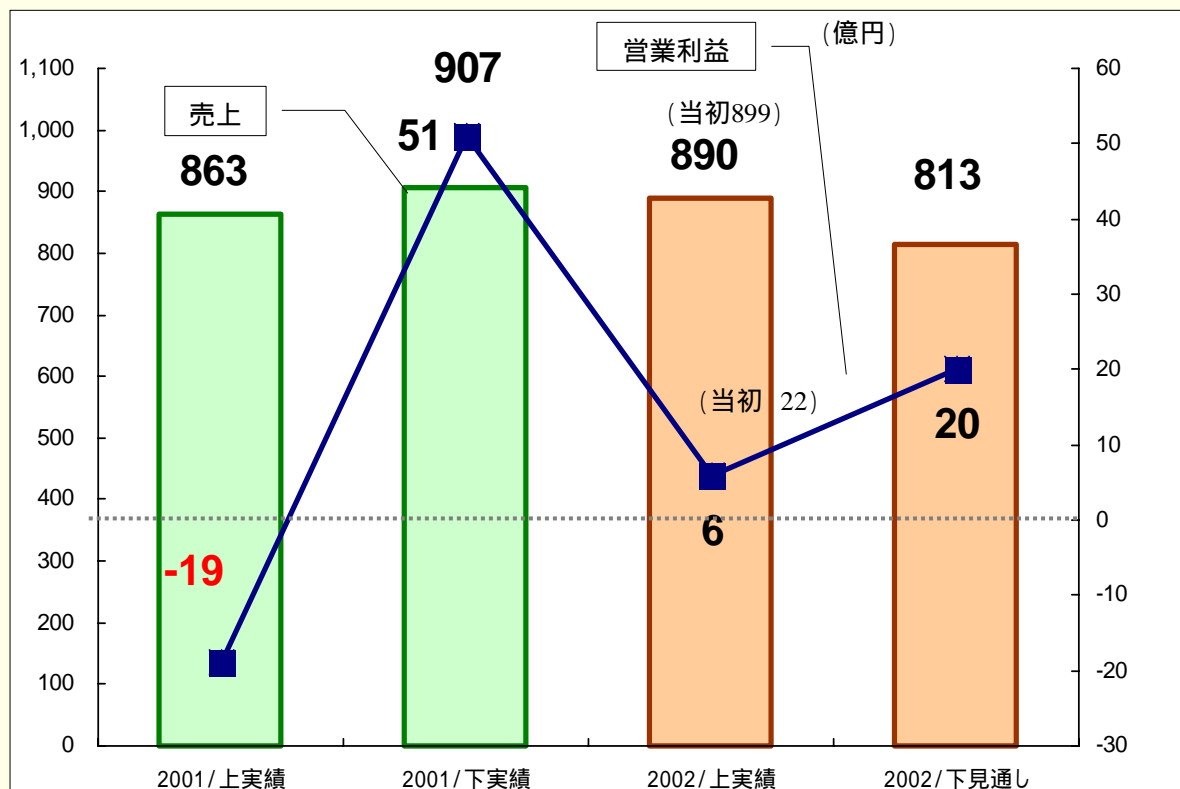
新規顧客向け販売の確保

営業体制の強化

•事業構造改革の完遂

	2002年見通し	2002年当初	2001年実績	当初比	前年比
売上	504	536	497	94%	101%
営業利益	0.4%	3.5%	-9.5%		
	2	19	47	17	49

2002年度 ソフト・メディア分野の状況



上半期の販売状況

	実績	計画	達成率	前年比
国内	795	804	99%	105%
海外	95	95	100%	91%
合計	890	899	99%	103%

音楽業界前年伸長率85%

上半期の増減要因(計画差)

【増益要因】

- 記録メディアの販売達成
- 固定費削減

【減益要因】

- 音楽作品編成のズレ、数量減
- 売価ダウン
- 機種構成差悪化

下半期のポイント

•ヒット作品の連打

桑田佳祐アルバムほか

•売価下落への対応

DVCテープ・DVD RW

•記録メディアの拡売

販路拡大

	2002年見通し	2002年当初	2001年実績	当初比	前年比
売上	1,703	1,757	1,770	97%	96%
営業利益	1.5%	3.0%	1.8%	26	6